

発 言 通 告 書

令和 2 年 12 月 1 日

松山市議会議長 若江 進 殿

松山市議会議員 池本俊英

次のとおり通告します。

発言順位	1	受領日時	12月 1日 午前 9時 50分	1 枚中 1 枚目
質問等の方式	一問一答方式 ・ 一括方式		発言時間	約 35 分
答弁を求める者	・市長 ・教育長 ・農業委員会会長	・選挙管理委員会委員長 ・監査委員	・公平委員会委員長	・公営企業管理者

No.	件 名	発 言 の 要 旨
1	野志市政 3 期目の折り返しを迎えて	(1)3 期目の当選から 11 月で丸 2 年を迎えたが、今日までの主な公約の成果とその評価について (2)残りの任期で、公約実現に向けてどう取り組むのか、市長の意気込みについて
2	ハイムインゼルごごしまの現状について	(1)これまでの定住状況について (2)現在の入居状況について (3)今後の展望について
3	ICT の活用について	(1)先頃実施した専門家による 5G などの ICT 研修の概要について (2)今後の ICT の活用の取組について
4	コロナ禍による厳しい状況の中で、 県内金融経済概況を受けての本市の 今後の経済対策について	(1)本市を含む県内の経済や雇用の認識について (2)ウイズコロナ時代を迎え本市の今後の経済対策について
5	中核市 3 市による自治体クラウドの導 入に向けた取組について	(1)3 市による協定の締結に至った経緯と今後の取組について (2)国が示す標準仕様が 3 市の協議に与える影響について
6	コロナ禍における教育の情報化と外国 語教育の推進について	(1)ICT 支援員の配置と GIGA スクール構想実現に向けた方針等について (2)ALT の活用について